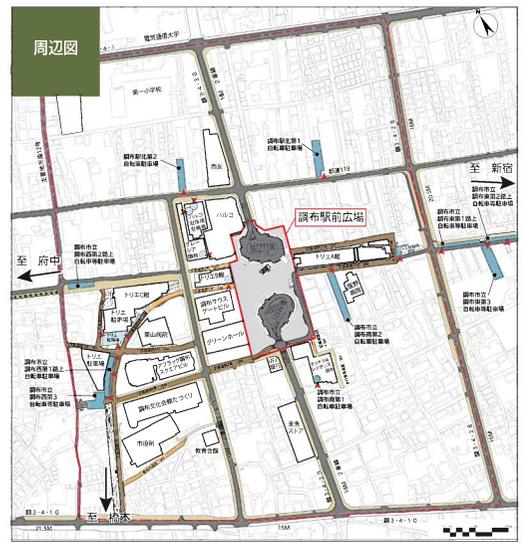


- 平成9年度～平成11年度 基本的な考え方「中心市街地づくり総合計画」検討
- 平成10年度 「調布市都市計画マスタープラン」策定
- 平成12年3月 「中心市街地づくり総合計画」策定
- 平成14年2月 調布駅前広場(調布3・4・29、調布3・4・30) 都市計画変更
- 平成16年度 「駅前広場整備構想案(一次)」公表
- 平成17年度 「駅前広場整備構想案(二次)」公表
- 平成21年7月 「中心市街地デザイン・コンセプト」策定
- 平成22年3月 調布駅前広場検討報告会
- 平成23年6月 調布・布田・国領駅前広場等 検討報告会
- 平成25年7月 「調布駅前広場検討図」公表
- 平成25年10月 中心市街地づくり市民説明会
- 平成25年11月 交通管理者(警視庁)協議完了
- 平成26年10月 調布駅前広場(調布3・4・29、調布3・4・30) 事業認可取得
- 平成26年11月 調布駅前広場事業説明会
- 平成28年6月 調布駅前広場の事業進捗に関する説明会
- 平成28年11月 調布駅前広場整備工事着手(北側ロータリー街築工着手)
- 平成30年9月 調布駅前広場の道路区域編入
- 平成31年1月 調布駅前広場の整備に関する説明会
- 令和元年度 調布駅前ひろば検討会
南側ロータリーの一部修正を決定
- 令和2年度 一部修正に伴う交通管理者(警視庁)再協議完了
ロータリー計画区決定
調布駅前広場整備計画(調布駅前広場整備計画)に関する市民説明会
整備計画区決定・公表

これまでの
主な検討経緯



今後の予定	北側	南側	広場口	歩行空間
令和3年度	設計	設計	設計	設計
令和4年度	工事	工事	設計	設計
令和5年度			工事	設計
令和6年度				工事
令和7年度				工事

令和7年度整備完了予定

お問合せ先
調布市 都市整備部 街づくり事業課
〒182-8511 東京都調布市1-9-15 2-35-1
TEL: 042-421-7417
FAX: 042-421-6800
E-mail: seib@w2.city.chiyofu.tokyo.jp

登録番号
(邦行検番号)
2020-273

資料3-1



令和3年3月
調布市

事業のあらまし

駅前周辺では、平成29(2017)年度までに4つの市街地再開発事業が完了し、駅前周辺地区にふさわしい、業務・商業の集積が図られるとともに、都市計画道路及び区画道路を整備し、良好な歩行空間の確保に努めています。
中心市街地の拠点となる調布駅前広場については、交通ロータリーの整備による交通結節機能の向上と、市民が利用できるイベント空間及び災害時への対応等を兼ね備えた環境空間としての広場機能の創出に向けて、平成26(2014)年10月に事業認可を取得し平成28(2016)年度から段階的に整備を進めています。

事業の概要

- ▶事業地 調布市布田1丁目、布田4丁目、小島町1丁目及び小島町2丁目各地点
- ▶交通広場面積 16,615平方メートル
- ▶事業期間 平成26年10月10日から令和8年3月31日まで



整備計画について

令和2年度までに実施した、市民アンケートやオープンハウスなどの市民参加でいただいた御意見や、関係機関等との協議を踏まえ、整備計画図を決定しました。

1 ゾーニングについて

4つのゾーニングを設定し、それぞれのゾーンのイメージに合わせた整備を行います。

- **イベントゾーン**
 - パレの場として賑わいや交流を創出する空間
 - 日常的な賑わいや交流を創出する空間
- **コミュニティゾーン**
 - 品のある落ち着いた空間
 - 子どもからお年寄りまで誰もが憩い、くつろぐ空間
- **みどりの庭ゾーン**
 - テナントビル等と種やかに分節する空間
- **おもてなしゾーン**
 - 市の新たな顔。玄关口としての客迎撃を演出する空間

▲ゾーニング図



2 歩行者動線について

調布駅前広場行動調査の結果を踏まえ、調布駅から南北バスロータリーや商業施設(パレコ、トリエ)・駅周辺の公共施設(南校舎、グリーンホール)をつなぐ経路を歩行者動線に設定しました。

3 誘導用ブロックの配置について

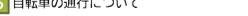
歩行者動線の上に誘導用ブロックを配置します。
 ・敷設する誘導用ブロックの具体的な配置などの詳細については、今後も実験的に関係団体と協議のうえ決定していきます。

4 イベント空間について

歩行者動線や調布駅前広場周辺の空間特性をふまえ、イベント空間(約2,000㎡)を設定しました。
 ・現在開設しているイベント広場の面積と同程度を想定しています。

- **ハレ(非日常)の場**
 - ファンゾーン
 - 高工まつり 等々
- **自然の活用**
 - マルシェ 等々

▲イベント空間イメージ



5 自転車の通行について

調布駅前広場内の自転車通行については、今後も関係機関等と協議を行い、具体策を検討していきます。
 ・現在の課題を明らかにし、ルールづくりの参考にするため、今後**社会実験を実施し効果を確認**していきます。

- **導引標**
 - 駅前広場の自転車利用ルールに関するリーフレット配布
 - 自転車利用ルールについてのリーフレットを調布駅前周辺の施設(近隣店舗や保育園・幼稚園)等に配布し、啓発を行います。
 - 車止めや注意喚起の看板の設置



6 上屋の設置について

駅出入口と南北ロータリーをつなぐ上屋については、工費の柱と歩行者動線等の平均が熟考されるほか、空間の広がりが増えかねないことから、**令和7年度の駅前広場完成時点での設置は行わず、現在の空間を維持**していきます。
雨風の障害者用乗降場に雨天でも安全に乗り降りできるように**上屋を設置**します。



7 コミュニティゾーンの整備について

子どもから高齢者まで憩える空間」の意見が多いことから、どの世代も憩い、憩える空間として整備していきます。

- **ふるまい空間**
 - 令和2年度社会実験として、パークとミストを設置
 - 可搬式緑化ベンチにミストを配置

ミストの活用を前提に、うるおい空間の創出と効果的な暑さ対策を講じられるよう、今後も様々な形で社会実験等を実施し、実験していきます。



8 情報発信機能の確保について

公共施設等の設置は行わない中で、デジタルサイン等を用いた情報発信機能を確保していきます。
 ・特に市民一人ひとりの高い情報発信を目標とし、**公民連携を視野に入れた社会実験**を実施することで、具体的な設案や内容を決定していきます。
 ・駅前広場内(地上)に単独での建築物の設置は行わない中で、観光案内機能を確保することを検討します。



9 トイレ・マンホールトイレについて

トイレは現在の指定トイレ付近に設置します。仕様等の詳細については関係部署等と協議のうえ決定していきます。
 ・マンホールトイレについては、調布駅前広場付近の設置を前提に、管理者等と協議し設置数等を決定していきます。

10 樹木配置について

各ゾーニングの特性と植栽コンセプトの観点から、樹木を配置します。
 グリーンホール前の配置については関係部署等と協議のうえ決定します。

●樹木配置の考え方

- **イベントゾーン**
 - イベント空間として訪れにならないようにイベント空間を囲むように配置します。
 - サウスゲート付近には、広場の各所から大木が望めるよう配置します。
- **コミュニティゾーン**
 - 北側は、イベント空間として使用するため、外側に多めに樹木を配置します。
 - 南側は、木陰で憩いや友人と憩えるように樹木ベンチを兼ねたものを配置します。
- **みどりの庭ゾーン**
 - 樹木に囲まれ憩えるよう樹木を多めに配置し、ベンチを配置します。
 - 周辺の建物と風やかに分節するように植栽を配置します。
- **おもてなしゾーン**
 - 広場の大木や木陰が見えるように樹木配置をしつつ、大空を創出するための高木を配置し、その木陰にベンチを配置します。

○ **交通機**
 ・バスやタクシーなどの運転の妨げにならないよう樹木を考慮し配置します。

● **樹木配置の考え方**
 ・コンセプト「**庭園緑化**」
 樹木が緑帯であった平坦地が、人々の憩いととも「**庭園緑化**」と呼ばれる樹林帯が形成されていきます。その庭園緑化のイメージを調和した植栽決定を行います。

